

水道水の安心給水と下水の適正処理の推進

◆ 老朽配水管の布設替

【水道建設課】

1 事業の目的

漏水や赤水の発生を未然に防ぎ、良質な水の供給と安定した給水を確保するため、老朽化した配水管の布設替を行う。

2 事業概要

- | | |
|-----------|-------------------------|
| (1) 布設替延長 | 約 3.5 km |
| (2) 布設替口径 | φ 100 mm～φ 500 mm |
| (3) 計画期間 | 平成 20 年度～平成 24 年度（前期計画） |
| (4) 概算事業費 | 50 億円 |

3 事業スケジュール

	配水管布設替工事
平成 20 年度	約 6.6 km
平成 21 年度	約 8.7 km
平成 22 年度	約 5.0 km
平成 23 年度	約 4.4 km
平成 24 年度	約 4.5 km

◆ 上下水道施設の耐震化

【水道建設課・下水道建設課】

1 事業の目的

震災等の災害にあっても市民の安全安心な生活環境を保持するため、「災害に強い上下水道の確立」を実現することが重要な課題であり、上下水道施設の耐震化への取り組みを進める。

2 事業概要

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| (1) 事業箇所 | 上下水道施設 |
| (2) 事業期間 | 平成 20 年度～ |
| (3) 事業内容 | 耐震化基本計画策定、耐震診断、耐震化工事 |
| (4) 概算事業費 | 1 億 4 千万円（耐震化基本計画策定及び耐震診断事業費） |

3 事業スケジュール

平成 20 年度	・耐震診断調査（川田水再生センター）
平成 21 年度	・耐震詳細診断調査（川田水再生センター）
平成 22 年度	・上下水道施設耐震化基本計画策定 ・耐震診断調査（松田新田浄水場等）

◆ 合流式下水道の機能改善

【下水道建設課】

1 事業の目的

大雨時における合流式下水道からの未処理放流水は、水質の悪化及び河川下流水域における公衆衛生面への影響があることから、公共用水域の水質保全及び良好な水辺環境を確保するため、「宇都宮市公共下水道合流式下水道緊急改善計画」に基づき、緊急的な改善対策を推進する。

2 事業概要

○合流式下水道緊急改善事業

- (1) 事業箇所 合流式下水道区域 965.5ha（雨水吐口17箇所）
- (2) 事業期間 平成16年度～平成25年度
- (3) 事業内容 きょう雑物の流出削減（スクリーンの設置）
大雨時の河川への放流水質改善（貯留施設の設置）
- (4) 概算事業費 67億円

3 事業スケジュール

- 平成19～20年度 スクリーン設置工事（17箇所）
- 平成20～25年度 貯留施設設置工事 （14箇所）

◆ 雨水対策の推進

【下水道建設課】

1 事業の目的

市街地における浸水被害の解消を図るため、「公共下水道雨水整備計画」に基づき、特に緊急な整備を要する重点排水区について、雨水幹線等の整備を実施するほか、「雨水貯留・浸透施設設置補助制度」の利用促進を図り、良好な水循環にも配慮した雨水対策の推進を行う。

2 事業概要

(1) 公共下水道雨水整備事業

- ア 事業期間 平成13年度～平成25年度
イ 概算事業費 80億円
ウ 重点排水区 8排水区
エ 事業スケジュール

排水区名	主な浸水発生箇所	事業年度
奈坪川第1	JR宇都宮線西側市道544号線周辺	平成15～18年度
新川第9	雀宮中央小学校周辺	平成13～19年度
鶴田川第5	鹿沼街道付近及び作新学院北東部周辺	平成13～25年度
西川田川第1	栃木陸運事務所周辺	平成13～21年度
駒生川第4	宝木団地北側周辺	平成21～25年度
新川第6	国道4号東側市道477号線周辺	平成19～23年度
江川第1	国道4号・県道宇都宮向田線交差点周辺	平成20～25年度
三の沢	鹿沼街道付近及び北側周辺	平成19～25年度

(2) 雨水貯留・浸透施設設置補助制度

対象区域内において、主に居住の用に供する住宅を所有又は占有し、当該宅地に対象施設を設置する者に対し、当該工事に要した経費の3分の2の額を補助する。

- ア 名称 宇都宮市上下水道局雨水貯留施設等設置費補助金
イ 対象施設 雨水貯留施設、雨水浸透施設、浄化槽転用槽施設
ウ 対象区域 市街化区域
エ 補助限度額 雨水貯留施設 …住宅1棟につき1基まで 1基当たり40千円
雨水浸透施設 … ” 4基まで 1基当たり25千円
浄化槽転用槽施設… ” 1基まで 1基当たり60千円